

学生大使実施報告書（ラトビア）
山形大学工学部バイオ化学工学科三学年

宮腰 建

派遣先：ラトビア大学

派遣期間：2016.3.11~2016.3.25

●日本語教室での指導内容

私より前にラトビアで学生大使をしていた方が何を教えて現地の人々がどのくらいの理解度であったか詳細に書いたノートを作成してくれていたためそれを参考にし、理解が十分でない分野や今まで触れたことがない分野を集中的に指導しました。基本的に文型を始めに示しそれを用いて文を作成してもらい、その際に質問があれば随時解説をして作成後はそれを発表してもらいという授業形式ですべて行いました。途中で休憩を入れて日本の紹介をしている動画サイトを見てももらう時もありました。ビギナークラスではすべてひらがなを書きそこにローマ字で発音を書いて、さらに目立つ色で意味を英語で書きました。アドバンスクラスでは漢字を用いてできるだけ日本人が普段使用する日本語を教えるようにしました。

●教室以外での現地での交流活動

ラトビアの人とはあまり関わりを持つのが簡単ではないと聞いたことがありましたが個人的には全然そんなことはないという印象を受けました。少なくとも私が会った方々はサービス精神旺盛な人たちでした。授業が終わるとほぼ毎日一緒に夕食を食べに行ったり、ラトビア語を教えてもらったりしました。土日には観光客はほぼ行かないであろう所、ラトビアの端に連れて行ってもらいそこで新たな出会いがあることもあり、その地域の伝統料理を食べることもありました。

●プログラムに参加した感想

海外に友達を作るのは簡単なことではありませんが、友達となるであろう人たちが日本に興味があったとしたらそれはとても簡単なことになります。今回ラトビア大学で現地の方々に日本語を教えることを一つの目的として行きましたが、結果としてその大きさはそれぞれですが自分の人生により影響を与えてくれる友達に出会えたかなと思います。帰国する時にはまた来たいと思わせられた二週間でした。そして何より、お金のない大学生にはうれしい補助金が出ることも触れずにはられません。フライトチケット代もかなり安くなり、国際学生寮に泊まるため滞在費も安く済みました。費用をできるだけ抑えて、海外で短期間ながらもかけがいのない経験を得ることができるというのは大学生ならではの特権ではないかと思います。参加してプラスのことしかないような研修でした。

●自分の目標の達成度や努力したことなど

今までは自分の将来のためにという理由で経験を得るために海外に出ていくことがほとんどでした。そこで今回の研修で私が目標としたのは海外に行き、日本の文化紹介、日本

語を教えることを通して人の役に立つことでした。結果から言うと自分では役に立つことができたかは正直わかりません。ですが最終日に「君たちの授業は楽しかったしわかりやすかった。」と言ってもらうことができました。その言葉だけから判断すれば少しは目標達成に手がかかっているかなと思います。またそのために努力したことです。基本的にはいつも明るく、そして大きな声で話すということを意識していました。そうすることで会話も弾みコミュニケーションが容易になるためです。

●今後の展望

今まで海外の人と英語で話すことが楽しいからという理由だけで英語を勉強していましたが今後は論理立てた思考を英語で正確に伝えられるような、つまり学会や将来の仕事で実際に使用できるような英語を勉強していきたいと思います。また世界各地にいる友達にも会いに行きたいです。